



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021.12.09
№330

12月議会
一般質問

気候危機打開のため知恵をしぼり、CO2削減を

町は現在「地球温暖化防止対策実行計画」と、気候変動に対応する計画を業者委託で策定中。12月末にはパブリックコメント(意見募集)にかけ、来年1月に計画を作り上げるとしています。委託先は、共同企業体、立科町再エネR&W*。委託料は二つの計画で1250万円。

*リコージャパン(株)と(株)早稲田環境研究所

「どのような観点で計画策定をするのか」を中心に質問。

国連では2030年までに地球温暖化の主な原因であるCO2を2010年比で45%削減、2050年までに実質ゼロにしないと、気温上昇を1.5℃以下に抑え込めないと、世界でCO2削減を義務付けています。それを受けて、英独仏などは意欲的な計画を作り、2030年までには石炭火力からの撤退と「電力部門のCO2排出ゼロ」を打ち出しています。日本の計画とは雲泥の差です。

町長は2050年までに「カーボンゼロ」を宣言。県内でも早い宣言でしたが、今年になって計画策定に取り組んでいます。町民・企業・町とみんなが一体となってCO2削減に取り組まなければ達成は困難です。

立科町は太陽光発電の最適地。長野県の「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」でも町内全域、「最適地」を示す赤い色で塗りつぶされています。町が音頭をとって、住民から資金を集め農業と両立するソーラー発電事業を行えばエネルギーの地産地消は可能。経済の好循環が生まれます。

【私の提案】

- 1、エネルギーの地産地消で地域に還元・貢献するエネルギー政策に
 - ・住宅・会社・工場・上下水道設備・小中学校などの屋根に太陽光発電設備の設置
 - ・小水力・木質バイオマス発電など、地域の資源を活かした発電
 - ・住民参加の新電力会社設立で地域に雇用と経済の好循環を作れ

2、生ごみのたい肥化で焼却ごみを減らす

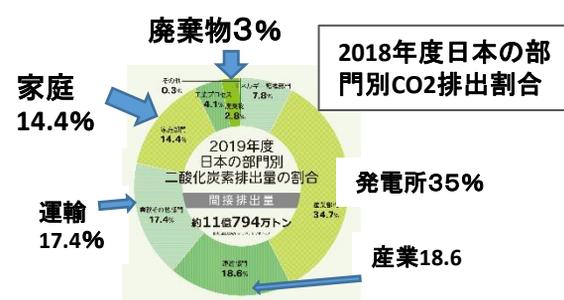
3、自転車利用の推進を。電動アシスト自転車の導入補助やレンタル制度を。

日本の2030年のエネルギー計画

	2030	2019
再生可能エネルギー	36~38%	18.1% 22%(2020)
原子力発電	20~22%	6%
石炭・火力LNGなど	19%	75.77%

世界では2030年には石炭火力の新設中止・段階的廃止を打ち出しています。日本は温存するばかりか火力発電所の輸出などを進め、今年も遅れた取り組みに贈られる「化石賞」をもらう不名誉でした。

原発も大事故を起こしたにもかかわらず、廃炉どころか2030年には現在よりも原発に依存する計画となっています。気候危機に対応するものにはなっていません。



巨大ハチの巣

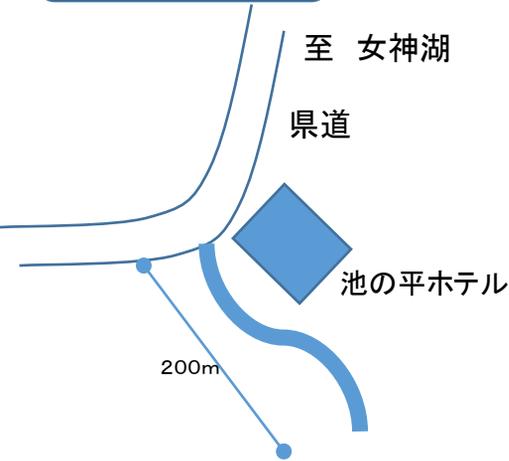


今週のパチリ!

知り合いの家の軒下に巨大ハチの巣。直径50cmもあろうかという大きな巣、スズメバチの巣です。独特のうろこ模様が美しく、唾液と木の繊維で作られる巣は芸術品。何年も前に作られて、放って置いたら、裏の軒下にも、またできたそうです。雨の当たらないところにできるようです。あちこちのお宅には立派なガラスケースに入れられて飾られています。本当に立派な巣ですから、やはり飾りたくなりますね。一回の巣づくりでこれだけ巨大なものを作るスズメバチの働きは、やはり、見事だと感心します。

12月議会より

巨費のかかる町道白樺湖大門峠線道路改良工事 補正予算で計上、来年も



【計画】 総事業費13,000万円、町の単独事業で辺地債を活用。(8割が交付金で手当てされるが2割は自己財源)

この町道の線形変形は、池の平ホテルの建て替えに伴い、予算編成後に持ち込まれたお話だということです。

1億3千万円もの工事費で、辺地債の対象になるとはいえ、補正で対応しなければならぬ緊急性があるのか問われます。総合整備計画（蓼科・中尾地区が辺地対象）には、展望休憩所整備事業や御泉水自然園整備事業、観光トイレ整備事業など多くの事業が盛り込まれています。



移住・定住推進 補助金を2件分 上乗せに 3.00万円

町は、よそから移住し新築した場合に100万円、さらに就業した場合には50万円支給する制度がありますが、今年度に入り、実績は5件あり、現在相談も1件寄せられているということです。今後交付決定がされる見込みで2件分を計上。ウレシイですね。

中山道線代替えタクシー券事業

1月から3月分まで 112.7万円

一回1,000円 9時～午後4時まで

千曲バスによる自主事業廃止に伴い、立科町と佐久市が共同で運行する朝夕のバス便のない平日日中、土日に使えるタクシー代補助券を発行します。

今年の9月議会に突然、総合整備計画書の第2次変更として「スキー場整備計画」とともに盛り込まれた「町道白樺湖大門峠線道路整備事業」。茅野市にぬける県道へつながる池の平ホテル前の町道白樺湖大門峠線のS字形をわずかながら直線に近く修正する道路整備として説明され了承しました。

多くの観光客が訪れるため、大型バスの往来や、冬季間の安全走行のために、線形を修正したいとして提案されました。

それに伴い、土地の買収や上下水道の敷設替えも必要となります。現在の町道分300㎡と新たな取得買収分700㎡との差、400㎡は町が買い上げます。

今後、上下水道敷設替え工事費が必要となります。

令和3年度の工事費は上下水道工事設計料含み 3,801万円
令和4年度に繰り越される工事費は 5,780万円

- ・設計監理・測量委託料 485.1万円 (9月議会) 全額起債
- ・道路改良舗装経費 3,570万円 (12月議会) 全額起債
- 〔内訳 測量委託 270.6万円／改良舗装工事費 3,000万円〕
- ・用地買収費 300万円
- ・下水道管付け替え工事設計委託業務料 143万円
(うち140万円は建設改良企業債 70万円は辺地対策債)
- ・排水管敷設替え設計委託業務 88万円
(うち80万円は企業債・40万円は辺地対策債)



新型コロナワクチン、追加接種 はじまる 2,520人分 2,700万円 全額国負担

3回目接種を12月から開始予定、郵送料や委託料などが予算化。追加接種では佐久医師会や佐久の交通業者に移送を依頼予定。

委託料920万円コールセンターの設置費用について質問。

池の平ホテルには1, 2回目の集団接種会場への移送を委託しました。3回目接種会場は町内の老人福祉センターを予定。受付などのコールセンター業務は池の平ホテルに委託予定ということが判明。予約の案内などはマニュアルに従っての業務であり、ホテルのフロントなどで慣れており、支障がないこと、観光業などのコロナで仕事が減った事業所への支援もあるといひます。